

日本医史学会関西支部 2023年 秋季学術集会

共催／京都医学史研究会・岡山医学史研究会

日時 令和5年12月3日(日)

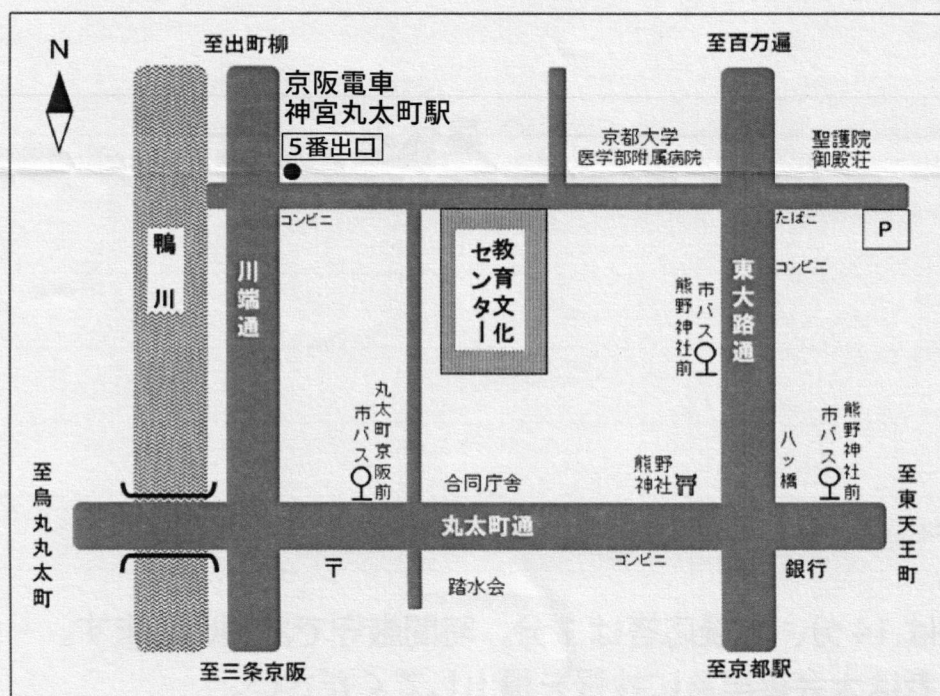
受付 午前9時 開演：午前9時30分

会場 京都教育文化センター 301号室

〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-1-3

☎ 075-771-4221

参加費 2,000円 学生・院生 無料



プログラム (敬称略)

9時30分 《一般演題》 — 座長 — 今井 秀

1. 日本における打膿の展開 — 経過報告パート2 谷田保啓 (名古屋市)
2. 『瘡瘍経験全書』に見る梅毒の定義と治療法 高橋正子 (名古屋市)
3. 国立公文書館蔵 周于蕃『小児推拿秘訣』多紀元簡手跋本について
李 強 (堺市)
4. 久野玄越・草刈三越・吉永升庵 — 腹診の確立と漢蘭の折衷
長野 仁 (神戸市)

10時35分 — 座長 — 田中祐尾

5. トキ標本とシーボルト 西巻明彦 (東京都)
6. ジェイムズ・マッケンジーの生涯と事績 柳沢波香 (東京都)
7. ポンペの内科講義と臨床講義について 相川忠臣 (長崎市)
8. 『花彙』 草之一に収載された植物について 安部郁子 (研医会図書館)

11時40分 関西支部総会

支部長挨拶

猪飼祥夫

事務局長報告・伝達

田中祐尾

—— 昼休み ——

※ 発表は14分、質疑応答は1分。時間厳守でお願いします。
発表者は大会後早急に抄録を提出してください。

13時00分 《特別講演》 — 座長 — 猪飼祥夫（支部長）

野村オールドクリニックについて 医学資料の保存と地域活動

演者 野村医院院長 野村信介先生

14時10分 — 座長 — 三鬼丈知

9. 艶本『風流色図法師』に引かれる内景図について 永塚憲治（函館市）
10. 都築博士と原爆症 飯塚修三（西宮市）
11. 結核予防指導看護婦の育成はじまり 鈴木紀子（東京都）
12. ウイリアム・アンダーソン『看病要法』（明治12年）にみる
病人のための西洋料理法 平尾真智子（京都市）

15時20分 — 座長 — 島山奈緒子

13. 永富独嘯庵の生涯 ～ 長府御領砂糖製作一件とその顛末について
今井 秀（豊中市）
14. 幕末明治期の漢方医学と西洋医学：新資料の『西洋駁義』を中心に
向 静静（立命館大）
15. 幕末における漢方と蘭方の対立構造 — 伊藤鳳山『漢蘭酒話』を中心に
関屋成彰（京都市）
16. 天回医簡にみる経脈考 猪飼祥夫（京都市）

16時30分 閉会の辞 支部長 猪飼祥夫

《紙上発表》

1. 小野妹子医書将来考 多田伊織（奈良市）
2. 権力者と西洋医学の導入 — 稲葉美濃守正則（1623～96）の場合
ミヒエル・ヴォルフガング（福岡市）
3. 神経発達症支援組織 Bryggan の活動 2017 小野尚香（日本福祉大学）
4. 森鼻宗次『皮下注射要略』（明治六年）にみる注射術の夜明け
田中祐尾（八尾市）

《注意事項》

- ▼ 演者の持ち時間は口演14分/質疑1分の計15分です。
座長は終了1分前にアラームをかけ、タイムアップ後は質疑応答などフロアで続行してください。
- ▼ 遠方の演者など当日順番差し替えの場合あり。ご了承ください。
- ▼ 発表者は当日抄録を必ず提出してください。内容の変更は自由です。
次々号『醫譚』に掲載します。概ね2頁2,600字以内でお出してください。
抄録とは別に絵図など多い人には『醫譚』への完全投稿を期待します。
この場合『醫譚』「投稿規定」をお読み下さい。
- ▼ 発表はパワーポイントに限ります。当日データを受付へ。
紙資料の配布は40部、原則当日持参ですが、困難なら予めご相談ください。
- ▼ 『醫譚』の1938年創刊以降のバックナンバーUSBの頒布を受付で行います。
3,000円です。
- ▼ 懇親会はありません。

<連絡先>

○ 日本医史学会関西支部事務局

〒581-0003 大阪府八尾市本町5-1-7 田中医院内

FAX 072-993-1237 事務局長携帯 090-5669-8213

E-mail sachio-tanaka@umin.ac.jp

<お願い>

会員名簿整備のため 氏名・住所・所属・電話番号・E-mailアドレスを事務局 (sachio-tanaka@umin.ac.jp) までお送り下さい。

E-mailアドレスが不明な方が多数おられますのでご協力お願いします。
また、新規会員のご紹介等よろしくお願ひいたします。

《MEMO》